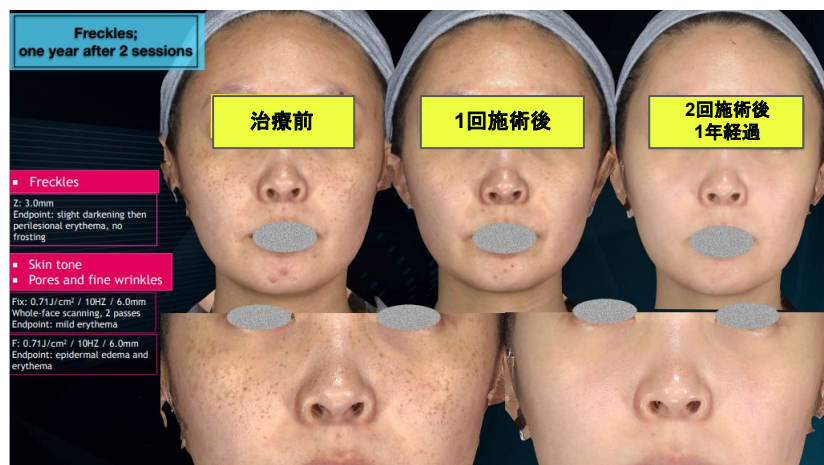


今の時期に気になる、日焼け後のシミ対策 正しいケア方法を知らないとシミが濃くなる原因に？！

西大寺駅前A皮膚科(所在地:奈良県奈良市西大寺東町、院長:鶴田 葵)は、PICOSURE(ピコシユア)やULTRA cel Q+(ウルトラセルキュープラス)などの最新美容機器を奈良県で初導入し、幅広い最新施術を受ける事が可能です。保険診療・自由診療どちらも受けることができ、初回は1時間のしっかりしたカウンセリングを行うことで患者様一人一人に合った施術を提案しています。そんな西大寺駅前A皮膚科の鶴田院長に、気になる日焼け後のシミについてのあれこれや、美容治療の詳細・注意点を聞いてみました。



※ピコシユア症例画像

【西大寺駅前A皮膚科が初導入！「PICOSURE」での日焼け後のシミ治療】

【PICOSURE】の特徴

・シミ・毛穴・しわ・にきび痕が同時に治療できる究極の美肌レーザー

従来のレーザーだと薄いしみには効果が乏しかったのですが、ピコシユアだと薄いしみにも反応することができます。また、シミとりモード以外にホワイトニング、フラクショナルモードもあり、肝斑やにきび痕、こじわにも効果を発揮します。

・ダウンタイムは最小限

照射後の赤み(数時間で消失する場合はほとんどですが、稀に数日継続する場合があります。)

色素脱失(稀に発生しますが、1~2ヶ月で改善する場合はほとんどです。)

炎症後色素沈着(シミが一時的に濃くなる現象です。数ヶ月で落ち着きます。)

※レーザー後のシミは適切な処置をしないと一時的にシミが濃くなってしまふことがあります。これまでの機器だと5-6割といわれていたのが、「PICOSURE」だとそれが1割になるという数字が出ています。

【まずは応急処置！自宅でできる日焼け後のおすすめシミ対策】

日に焼けてしまった肌には、すぐに応急処置をすることが大切です。メラニンの生成を抑制するケア方法を知りましょう。

・直後はとにかく肌を冷やす！

日に焼けて火照った肌を保冷材や氷などですぐに冷やすことで炎症を抑えましょう。日焼けは軽い火傷と同じ状態です。

・炎症を抑えた後はしっかり保湿をしましょう！

薄皮などを自分でめくるのは絶対にNG！シミの原因になってしまいます。

保湿をした後に、たっぷりのビタミンCや美白効果のあるスキンケアでメラニンの生成を抑制しましょう。

・表面のケアと同時にインナーケアも大切です。

日焼け後一週間はビタミンが豊富に含まれたサプリメントや食べ物を接種すると効果的です。

美白といえばビタミンCですが、ビタミンA、Eも同時に取り入れることでシミを内側から作りやすくしていきます。



西大寺駅前A皮膚科(本社:奈良県奈良市西大寺東町 2丁目1-63)

院長 鶴田 葵

HP: <https://www.a-hifu.com/>

【所属学会】日本皮膚科学会 / 美容皮膚科学会

【資格】日本皮膚科学会認定専門医 / 日本美容皮膚科学会正会員

アラガン ジュビダームビスタ ヒアルロン酸注入 MDcodes Certification 認定医

アラガン ボトックスビスタ注入認定医 / 日本医師会認定 指定産業医

自身も学生時代ににきび・アトピー性皮膚炎を患い、悩んだ経緯があり、見た目を担う皮膚疾患の治療がいかに社会生活を送るうえで重要か感じています。元患者ならではの目線で、来院してくださる皆様のために、安心して気持ちよく通院できる医院を目指します。

※掲載や取材に関するお問い合わせは下記 PR事務局までお願いいたします。

【お問い合わせ先】
株式会社Enjin 福田 宛

Tell:070-6510-3542/03-4590-0808 Mail:k.fukuda@y-enjin.co.jp